木佐木ただまさ NEWS　発行：木佐木ただまさ事務所　横浜市鶴見区馬場町 1-6-26　電話 045-583-7445　2018.12.3 号

神奈川県会議員

木佐木（きさき） ただまさ

日本共産党

いのちとくらし

守る政治をご一緒に

＜プロフィール＞
- ●神奈川大学法学部卒
- ●元法律事務所職員
- ●よこはま健康友の会副会長
- ●横浜東民商顧問
- ●弓道初段　1984年生まれ

パワハラをなくし患者のための医療環境改善を！

労働事件が和解へ　議会質問が実る

先日、かかわっていた労働事件が和解をしたという報に触れました。

パワハラ受け、療養中に解雇

この事件は、県内のとある透析クリニックで医療安全体制を向上するために呼ばれた看護師の方が、実際に環境改善の取り組みを始めたところ、実質的にクリニックの運営を行っていた事務長からパワハラを受けるようになり、病気で休んでいる間に解雇されていたという事案です。

医療環境改善も求めていた

当初からこの看護師の方は、自身の受けたパワハラ被害の補償と併せて患者のための医療環境が整っていないことにとても心を痛めていました。労働委員会の中で示された話によれば、「使用済みの注射針が国の指針通りに管理・廃棄されていなかったり、シーツが不潔であったり、管理者である医師が常駐していない。使い捨てで使用するべきカヌラ（酸素マスク類）を破損するまで繰り返し使っていたり、感染性廃棄物を一時的にトイレで保管し最終的に集約して廃棄している、感染性廃棄物を捨てる段ボール製のごみ箱がトイレの出入り口付近に置かれ、ふたも開けっ放しになっている」など信じられない状況だったとのことです。これを放置していられないという事から、医療環境の改善も求めていました。

保健所の立入り調査、指導要請、議会でも取り上げました

私も相談を受けて、一緒に保健所に立入調査（医療監視）を行ってもらうことや必要な指導を行ってもらう事などを求め、医療安全の観点から議会での質問なども行ってきました。

治療を行う医療機関において、基準が守られず院内感染を広げるようなことがあっては本末転倒です。

今後は、通り一遍の調査でなく

県は所管の医療機関に対して、病院では年一回、診療所では３年に一回医療監視で調査をしています。今回のような事案が見過ごされることのないように、通り一遍の調査ではなく、実態をしっかりつかめるような調査方法の改善も求めました。これからも、安心して通院できる医療環境を確保するために頑張ります！

神奈川県心身障害児者福祉促進大会に参加

１２月１日（土）、神奈川県心身障害児者福祉促進大会に、厚生常任委員としてお招きいただき参加させてもらいました。神奈川県心身障害児者父母の会連盟が行うこの大会は５０回を超える長い歴史がある大会です。障害とひとくくりにできない、それぞれの苦労や課題を共に支えあいながら改善を求めるとても重要な役割を担っていると感じます。

今年は、自身も先天性多発性関節拘縮症という障害をもっているお笑い芸人のホーキング青山さんが基調講演（基調漫談？）を行い会場は笑いの渦が巻き起こりました。ご自身の経験をもとに、社会とのかかわりを語るホーキング青山さんの一言一言に、保護者の方が深くうなずく姿に、まだまだ僕自身理解が足りないことが山ほどあるなと痛感させられました。

「私たち（障がい者）のことを、私たち抜きに決めないで」という言葉がありますが、これをしっかりと胸に刻んで制度の改善のための議論に臨みます。大会では、視覚障害児の保護者の方からすべての駅にホームドアを設置してほしいとの要望もいただきました。鶴見駅は県内の JR の中で最初に設置してもらうことができましたが、京急やターミナル駅の横浜駅などはまだまだ進んでいません。この声を実現するために国や県、鉄道事業者にも取り組みを促進してもらうよう要望していきたいと思います。

講演するホーキング青山氏

〒230-0041　鶴見区潮田町 2-120-2
TEL045-504-5121　FAX045-504-7331